

□赤磐市青少年健全育成推進大会が開催されました

2月1日(土)赤磐市中央公民館で赤磐市青少年健全育成推進大会が、多数の参加者のもと開催されました。この大会では、最初に「明るい家庭づくり」の作文の最優秀者の発表がありました。磐梨中学校からは、中学校1年生の部で竹本 陽(たけもと はる)くんが選ばれ、保護者の部でPTA会長の矢部 麻希子(やべ まきこ)さんが発表されました。続いて赤磐・加賀支部の中学校弁論大会で最優秀賞を受賞した吉井中学校の王贏磁さんの素晴らしい弁論がありました。記念講演では、こころ元気研究所の鎌田 敏(かまた びん)先生が「こころ元気な大人が子ども未来を築く」と題して講演をされました。感動する作文、心に響く弁論、自分を振り返る講演など有意義な時間を過ごすことができました。

中学校1年生の部 最優秀賞 竹本 陽くんの作文です

弟と僕

「お兄ちゃん」

僕は、弟にそう呼ばれたことがない。ずい分前に無理矢理呼ばせたことがあるけど、いつもの

「ハル」

と呼ばれる方が、しっくりくる。

僕の弟は小学校3年生だ。4つも年が下だけれどとても口が悪くて生意気だ。けんかをいつも売ってくる。ついこの間も理由は忘れてしまったけれど、大げんかをした。

弟のパンチ！ 俺のキック!!

最初はリビングの中だけで戦っていたけれど、弟が反則をしておもちゃで叩いてくるので場外乱闘へと発展した。廊下のドアを挟んでの攻防戦は、兄のプライドをかけて負けるわけにはいかない。だから飛び道具を使ってみた。僕は、グッションを投げた。一つ、二つ、三つ。もちろん命中した。だけど、弟は、「痛くないもんね」と言って固いおもちゃを投げつけてきた。怒った僕が走って追いかけて服をつかんだ。(今だ！チャンスだ!!)勝負がつきそうな時に、「コラー!!」母の雷が落ちた。

このときはお菓子も投げっていたので、ちらばったお菓子を、最後は二人で食べながら拾った。

「ごめん」「俺もごめん」けんかはいつもこのセリフで終わる。

弟は、とても優しい一面もある。例えば、自分のお菓子を分けてくれたり、母と買い物に行った時は、僕にお土産を買ってきてくれたりする。僕の姿が見当たらないと、必ず「ハルは？」と母に聞からしい。

なんだかんだ言って僕のことが好きなんだと思う。だから僕も、母と出かけた時には、弟にお土産を買って帰るようにしている。そして僕は、お兄ちゃんだから、欲しい物が一緒だった時は、弟にゆずってあげるようにしているし、宿題が分からない時には、優しく教えてあげている。(少しだけ偉そうにしてしまうけど)

他にもお兄ちゃんとしての仕事がある。学童のお迎えだ。行ける時は必ず行くようにしている。お迎えは中学生以上の兄弟姉妹に認められた特権だ。僕が中学生になり今年からお迎えデビューをした。お迎えに行くと弟はいつも照れくさそうに笑いながら出てくる。そして弟の荷物を僕の自転車の前かごに入れて弟は走り、僕は自転車をこいで前に行く。すると後から

「待つてー」

と叫びながら僕の後ろを走ってついてくる。一見かわいそうに感じるかもしれないが、弟は剣道をやっているからいいトレーニングになっていると思う。そして二人で仲良く家に帰るのが僕たちの「いつもの光景」だ。

僕は、実をいうと小さい頃は、優しく面倒をみてくれるキレイな姉が欲しかった。でも今では、思いっきりけんかをしたり、一緒に遊んだりできる弟がいて、とても良かったと思っている。この先両親が年をとって先にいなくなったとしても、弟がいるからひとりぼっちにはならないし、困った時も相談することができる。

だから弟がいてくれて本当に良かったと思っている。だって弟は世界で一人だけの僕の弟だし、弟にとっては、僕が世界でたった一人だけのお兄ちゃんだから。

